

お使いになる前に

Klocwork Insight および Inspect

ご使用前に

インストールのプロセスと製品のセットアップは、次のような状況によって異なります。

- チームが使用しているプログラミング言語 (C/C++、C#、Java など)
- 使用している開発ツール

そのまま使用できるサポート対象の言語/ツールの組み合わせは次のとおりです。

- C/C++ と Visual Studio、Eclipse、Wind River Workbench、または QNX Momentics
- C# と Visual Studio
- Java と Eclipse、IntelliJ IDEA、または IBM Rational Application Developer for WebSphere

上記と異なる環境で作業する場合や、コマンドラインから構築する場合、デスクトップツールを使用するには、いくつかのコマンドを覚える必要があります。

Klocwork ツールの使用を開始するための 4 ステップ

このセクションでは、[ドキュメンテーション wiki](#)

に記載されているトピックについて簡単に説明します。インターネットにアクセスできない場合は、Klocwork のインストールとアップグレードについての PDF

を参照してください。これは[カスタマーサポートサイト](#)でも入手できます。サーバーパッケージがインストールされている場合は、ネットワーク上で次の URL から完全なドキュメンテーションを入手できます。

`http://<klocwork_server_host>:<klocwork_server_port>/documentation`

1. ご使用のプラットフォームに適した Klocwork サーバーパッケージをインストールします。このパッケージには、Klocwork サーバーとビルド解析ツールが含まれています。
2. 統合プロジェクトを設定し、解析を実行します。このプロセスには、Klocwork によるコンパイラの認識、build specification (ビルドスペック) のキャプチャ、統合プロジェクトの作成、および統合ビルド解析の実行が含まれます。ドキュメンテーション wiki または同梱のドキュメンテーションを参照してください。
3. 開発チームが Klocwork ユーザーパッケージを使用できるようにします。Visual Studio または IntelliJ IDEA の場合、インストールプログラムによって IDE が検出され、プラグインが自動的にインストールされます。Eclipse の場合は、インストールプログラムを実行した後、Eclipse 更新サイトからプラグインをインストールします。サーバーパッケージとユーザーパッケージの両方で自動インストールがサポートされています。
4. 各デベロッパーを統合プロジェクトに接続します。接続すると、デベロッパーの作業時に検出された指摘が Klocwork Desktop Analysis に表示されます。[ドキュメンテーション wiki](#) または同梱のドキュメンテーションを参照してください。

次の手順

ここまでのプロセスが完了したら、次の手順を実行できます。

- 統合ビルド解析の結果を Klocwork Review に表示し、コードベースの改良点をビルドごとに追跡できます。
- 解析を調整し、潜在的なコードの欠陥を検出して報告する処理を改良できます。
- ローカルおよびリモートのデベロッパーと共同でコードレビューを実行できます。
- Klocwork Refactoring や Klocwork Architect などの高度なツールを利用して、コードの品質と設計を向上させることができます。